



木曽林務課だより 6月

大雨や台風による災害が増える中、ドローンを使ってスムーズに被災現場の状況確認ができるようにするため、林務課の職員がドローンの飛行練習を行いました。

本日はその様子をお伝えします！

ドローンを動かしてみました！

梅雨入り間近の6月10日、木曽地域振興局林務課の職員を対象に、ドローンの操作研修を行いました。

長野県林業大学校の下澤教授を講師とし、ドローンの組み立てから離陸～飛行～着陸までの操作説明や注意事項を聞いたあと、一人ずつ実際に飛ばす練習をしました。

初めて操作する職員がほとんどで、最初は慎重に触っていましたが、しばらくして慣れてくると、スイスイ飛ばし始める職員も増えていきました。

自然災害が激甚化する中、土砂崩れや倒木などによる山地災害も増えていきます。上空から山の様子を確認できるドローンを使えば、立ち入りが困難な被災現場の状況を迅速に把握し、対策に必要な情報収集を行うことができます。

便利な道具が増えていきますから、いざというとき積極的に活用ができるように、普段から練習をしておきたいですね。

